

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		05 04 18	中期総合計画主要施策番号		3 - 03	担当課	部・課	衛生部健康づくり支援課		
事業名		女性の健康ライフ支援事業					内線	2642		
							E-mail	kenko@pref.nagano.jp		
事業の概要等	事業の目的	女性の生涯を通じた健康を支え守るため、健康に関する一般相談、あるいは不妊の悩み等の専門相談を行うなど、相談支援・情報提供を行う。								
	事業の必要性	【現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)】 近年の生殖補助医療は、急速な技術進歩がなされ、着実に普及してきている。しかし、人工受精や体外受精などの成功率がまだまだ低いことから不妊に悩む方にとって身体的、精神的に大きな負担となっている。 【原因分析(ギャップが発生している原因は何か)】 不妊に悩む方、特に女性の場合は、世間の目や子どもができないことに対して、自分自身を追い詰めてしまうなど、悩みを抱えていても、人にはなかなか話せず一人で悩んでいる方も多い。 【課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)】 ・専門的な立場から正確な情報を提供する必要がある。 ・専門的な知識を持った者が、相談者の心身の悩みを受け止め自己的決定を支援する必要がある。								
		事業内容	・不妊に悩む者に対して、不妊専門相談センターにおいて、専門相談を実施する。 ・健康不安のある女性に対して、全保健所で女性活き活き健康相談を実施する。							
		実施期間	H13 ~	根拠法令等	生涯を通じた女性の健康支援事業実施要綱(国)、長野県健康増進計画					
	成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価	
不妊に悩む方の身体的、精神的な負担を軽減する。		不安を抱える方の相談に適切に対応する。			不妊専門相談センターでは200件、保健所での女性活き活き健康相談は65件の相談に対し、正確な情報の提供、メンタル面に関する相談等、適切に対応し、相談者の不安の軽減、自己決定への支援を行った。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下			
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要			
	最終予算額 (A)		千円	1,192	1,119	1,038	国庫・県単 国庫・県単			
	決 算 額 (B)		千円	1,192	1,034		実施方法 直接・委託			
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	625	517	519	歳出節別 内訳等			
	概 算 人件費	従事する職員数	人	0.6	0.6	0.60	報償費 12 旅費 14 需用費 46 委託料 962			
	概算事業費 (B(H21はA) + C)		千円	51,172	5,323	5,327	(単位: 千円)			
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績			
	不妊専門相談センター相談者数		件	255	200	230	不妊専門相談センターのポスターを作成し、産婦人科医療機関へ送付。新聞、ラジオ等で周知を実施した。			
	女性活き活き健康相談者数		件	69	65	70				
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明							
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	新聞、ラジオ等で数回周知を行うとともに、不妊専門相談センターのポスターを作製し、産婦人科医療機関へ送付したところ、ポスターを見たので相談したという相談者が増えた。相談のニーズは高いと考えられ、継続した周知が必要。			
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
課題の総括		不妊専門相談センターについて今年度もポスターを作製し、医療機関への掲示を行う。さらに新聞、ラジオ等で定期的に周知すると共に市町村窓口へチラシの配布等行う。								